



恐竜のまちづくり最前線

パート 20



第1回恐竜ワールド講演会 まちづくり熱く語る

8月3日(水)、穂別町民センターにて町主催の「第1回恐竜ワールド講演会」を開催しました。講師の村上茂さんは定年後に故郷の兵庫県丹波市へリターン、旧友に誘われて始めた化石探して2006年に国内最大級の恐竜化石を発見し、これがきっかけで化石を活用した地元のまちづくりに自ら携わるようになったそうです。

当日は恐竜化石発掘から始まる10年間のまちづくりの経緯が報告され、約80名の参加者が耳を傾けました。村上さんは「丹波で新たに見つかった恐竜のタマゴの集合化石を次の10年に繋いでいくのが夢。むかわ町と連携してまちづくりを盛り上げていきたい」と講演を締めくくりました。



講師の村上茂さん



マーストリヒチアンの恐竜たち⑦ パキケファロサウルス

パキケファロサウルスはドームのようにぶ厚く発達した頭が特徴で、最大で20センチにもなります。この特徴から「厚い頭のトカゲ」という意味の名前がつけられました。

パキケファロサウルスは、どうしてこんなに分厚くがんじょうな頭を持つようになったのでしょうか。一説には、この頭を武器として使っていたと言われてます。パキケファロサウルスやその仲間の頭の骨を調べると、傷口から細菌が侵入することで起こる病気のあとがたくさん見つかりました。頭をぶつけたときにケガをして、そこから細菌が入ったのかもかもしれません。

文・イラスト：太田晶(地域おこし協力隊)

人の動き

平成28年7月31日現在

- ▶人口 8,674人 (-8)
 - ▶男性 4,277人 (-7)
 - ▶女性 4,397人 (-1)
 - ▶鶴川地区 5,913人 (-2)
 - ▶穂別地区 2,761人 (-6)
- ▶世帯 4,401世帯 (-2)

平成28年7月1日～31日

出生 2人	死亡 11人
転入 11人	転出 10人

※()は前月比。住基法の改正により、外国人数を含まず。

交通死亡事故ゼロ日数

平成28年7月31日現在



年間スローガン
ストップ・ザ・交通事故
～めざせ安全で安心な北海道～

